

2. 消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	707,776	709,505	△ 1,729
手数料	12,965	13,799	△ 834
寄付金	10,480	11,018	△ 538
補助金	254,305	265,092	△ 10,787
(国庫補助金収入)	(52,405)	(54,237)	△ (1,832)
(地方公共団体補助金収入)	(201,900)	(210,855)	△ (8,955)
資産運用収入	66,074	69,403	△ 3,329
事業収入	10,484	11,713	△ 1,229
雑収入	36,786	24,149	12,637
帰属収入合計	1,098,870	1,104,679	△ 5,809
基本金組入額	0	△ 2,085	2,085
消費収入の部合計	1,098,870	1,102,594	△ 3,724
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	1,304,069	1,264,755	39,314
教育研究経費	835,831	856,536	△ 20,705
管理経費	443,845	700,557	△ 256,712
徴収不能額徴収額 不能引当金繰入額	2,820	7,168	△ 4,348
消費支出の部合計	2,586,565	2,829,016	△ 242,451
収支差額の部			
当年度消費支出超過額	1,487,695	1,726,422	
前年度繰越消費支出超過額	4,677,650	4,677,650	
基本金取崩額	102,467	416,837	
翌年度繰越消費支出超過額	6,062,878	5,987,235	

※消費収支計算書の目的(学校法人会計基準第15条)

毎会計年度、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするために行なうものとする。

消費収支計算書における主な要点

- ・ 帰属収入は、前年に比べ約5億円減少致しました。東和大学の募集停止に伴う学生数の減少が大きな要因です。
- ・ 基本金組入額については、部門別に把握し、純真高等学校について組入を計上しました。他の部門については、全て取崩額を計上しております。
- ・ 消費支出は、前年に比べ約5億7千万円減少しました。内訳では、人件費が4億7千万円と大きく減少しております。前年度実施した職員の早期退職制度による人員の減少や、退職金及び退職給与引当金の減少などが主な要因です。
- ・ 消費収支差額は、17億2642万円の支出超過となりました。